

♠ステップ1

○あやは心の中でムツとしたが、あやは正しいだろうか？

- 正しいと思う
- みんな同じ考えかな？
- どちらとも言えない
- まちがっていると思う
- まちがっていると思う
- みんなそう思うの？

○お礼を言わなかった女の人の行動は正しかったらどうか？

- 正しいと思う
- どちらともいえない

♥ステップ2

なぜ、そう思ったの？

- わざわざ席を空けたのにお礼を言わないのだから、腹を立てて当然だ
- 女の人は頼んだわけではないが、お礼を言った方がいいと思う
- あやが勝手に席を空けただけで女の人が頼んだわけではない
- 自分のために席を開けてくれたのだからお礼を言うのは当然だ
- 自分のために席を空けてくれたと気付いていなければお礼は言えない
- 勝手に席を空けてくれただけで、頼んだわけではない
- 言った方がいいと思うけれど、絶対言わないといけないというわけではない

♣ステップ3

○でも、女の人は頼んだわけではないよ

- 頼まれていなくても、お礼を言った方がいい
- 頼んだわけではないので仕方ない

○でも、自分のために席を空けてくれたと気付いていないかもしれないよ

- ちらっと見たので、気付いているはずだ
- 気付いていないのなら仕方ない

○気付いていたら、お礼を言うべきかな？

- 気付いていたならお礼を言うべきだ

○頼んでいなかったら、お礼を言わなくていいのかな？

- でも、頼んだわけではないので必要はない
- 初めから席を空けてくれたわけではないので言いにくい

○頼んでいないことでも、自分のためにしてくれたと気付いていれば、お礼の言葉言うべきかな？

お礼を言わない理由って何かあるのだろうか？

○相手のためと思って行動するときを考えておくべきことは何だろうか？

- 頼まれていなくても、お礼を言った方がいい
- 心で「ありがとう」と思っていれば、それでいい
- 「ありがとう」と思っている、口に出すのは恥ずかしい
- みんなはどう思う？
- お礼を言ったらお互い気持ち良くなる
- 心で思っていただけでは伝わらない
- 言葉にするのは大切なのかな？
- 初めての人に「ありがとう」とは言いにくい
- 相手のためと思っても感じ方は人それぞれだ
- 相手の立場に立つことも大切
- 相手のためになるかの判断はどうすればいい？
- 見返りを求めてするものではない
- でも、求めてしまうこともあるのでは？

◆ステップ4

◎「感謝の気持ちを伝える」ということについて、考えたことをまとめましょう

これまでの経験をもとに考えることもできますね

授業展開のポイント

- ・ステップ1,2 (♠♥) では、それぞれの立場について考えさせ、その意見を共感的に取り扱いながら、なぜそう思ったか理由を考えさせます。
- ・ステップ3 (♣) では、単に感謝の気持ちやその思いに対する礼儀の是非について考えるだけでなく、親切にすることや受けることについてそれぞれの立場や思いを主体的に考え、判断できるように進めます。
- ・ステップ4 (◆) では、「感謝の気持ちを伝える」ということについて、考えを深める場面を設定します。これまでの経験を振り返りながら、本時の学びを深めてもよいでしょう。

指導上の留意点

- ・「相手に感謝の気持ちを表すことの大切さ」だけを考える時間ではなく、「感謝の気持ちを表すことはどういうことなのか」を考える時間です。よいとわかっていても行動できないという考えにも一定の理解を示します。
- ・主人公の思いや登場人物の行動を通してそれぞれの立場に立ち主体的に考える場面を設定します。
- ・物事の本質を考えるとともに、その考えに至った理由は何なのかを考えさせることが大切です。
- ・授業の最後に、この時間に学んだことについて振り返り、記述させることで、学びを深めるとともに評価を行う工夫をしましょう。